

令和3年度 第11回科学の甲子園山形県大会 開催要項

1 目的

「科学の甲子園全国大会」は、全国の科学好きな生徒等が集い活躍できる場として、理科・数学・情報分野の競技を通し、科学好きの裾野を広げることと、トップ層を伸ばすことを目的として、科学技術振興機構（JST）が、平成23年度より実施しているものである。本県においても科学好きな生徒に活躍の場を提供し、実技種目を伴う探究的・課題解決的な競技を通して、科学に対する意欲を高め、科学的な思考力や表現力を養うとともに、科学の甲子園全国大会の予選として、本大会を開催する。

2 開催体制

主 催	山形県教育委員会
共 催	山形大学 山形県立産業技術短期大学校 山形県高等学校文化連盟科学専門部 山形県高等学校教育研究会数学部会 山形県高等学校教育研究会理科部会 山形県高等学校教育研究会情報部会
後 援	国立研究開発法人科学技術振興機構 山形県高等学校文化連盟

3 大会期日 令和3年10月24日（日）（実技競技のみ）
（筆記競技については、別途定める期日にて参加各校で実施する）

4 大会会場 山形県教育センター（天童市大字山元字犬倉津2515）
（参加規模によっては天童市立津山小学校体育館も使用）

5 大会当日の日程（出場チーム数によって変更となる場合がある）

10:00～10:30	開会行事
10:40～12:40	実技競技〈総合系〉
12:50～13:10	閉会行事

6 出場チームの構成員

科学の甲子園全国大会開催要項に準じる。

- (1) 出場チームは、高校1、2学年の生徒（高等専門学校にあっては同年次の学生）により、1校単位で構成する。
- (2) 出場チームの構成員は6名以上8名以下とする。
- (3) 県大会の出場チームは、校内選考を経て、各学校において決定する。出場チーム数については、1校につき1チームまでとする。

7 参加申込

参加申込書については、県教育センターホームページよりダウンロードした様式に必要事項を入力して作成し、その電子データを下記の「科学の甲子園山形県大会実行委員会事務局」にEメールで送信すること。その際、必ず学校長の出場認知を得ること。

【科学の甲子園山形県大会実行委員会事務局】

山形県教育センター 指導主事 阿部淳一 E-mail abeju@pref.yamagata.jp

メールの件名：「【〇〇〇】科学の甲子園山形県大会参加登録」

※〇〇〇には、「山形県立」や「高等学校」等を除いた高校名の略称を入力すること

【県教育センターHP】（「科学の甲子園山形県大会」より申込書等ダウンロード）

URL <http://www.yamagata-c.ed.jp/>

【申込締切日】 令和3年9月24日（金）必着

8 競技の種類

大会競技は、筆記競技と実技競技（総合系）からなる。

(1) 筆記競技

筆記競技は、理科4領域、数学、情報の中から、知識を問う問題及び知識の活用について問う問題で競うものとする。教科・科目については、その枠を超えた複合的な問題も出題され得ることとする。

(2) 実技競技（総合系）

実技競技は、総合系（科学技術を総合的に活用して、ものづくりの能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力等を用いて課題を解決する力を競うもの）を行う。

9 競技の形式及びエントリーの人数

競技の形式については、原則として以下のとおりとするが、詳細は競技要領により定めるものとする。

(1) 筆記競技

- ・ エントリーは選手6名、補欠2名までとする。
- ・ 競技は、6名が問題を分担したり相談したりしながら協働で解答し得点を競う。

(2) 実技競技（総合系）

- ・ エントリーは選手3名、補欠1名までとする。
- ・ 事前配付資料に基づき競技を実施する。
- ・ 競技は、3名が問題を分担・相談しながら協働で解答し得点を競う。
- ・ 1名又は2名のグループ構成による解答は認めない。

10 競技選手について

出場チームの生徒は、必ず1競技以上に出場しなければならない。また、同一人が複数の競技に出場することは可能である。各競技に参加する生徒について、エントリーシート提出後の変更は基本的に認めない。ただし、病気その他不測の事態によりメンバーを変更する場合、引率教員は、開会行事開始前までに大会事務局に変更を申し出ること。メンバー変更の可否は協議により判断する。

11 表彰等

- (1) 山形県大会終了後、別日程にて採点委員会を開催し、採点を行ったのちに各校に成績を通知する。
- (2) 筆記競技及び実技競技〈総合系〉の成績点数の合計によって、順位を決定し、上位3チームを表彰する。
- (3) 順位は成績点数の合計の大きい順とする。ただし、成績点数の合計が同点の場合は、実技競技〈総合系〉の点数が大きいものを上位とする。
- (4) 優勝チームは、山形県代表チームとして令和4年3月18日～21日に開催される全国大会（つくば市）への出場権を獲得する。

12 代表強化

科学の甲子園全国大会に出場する県代表チームの強化を目的として、4回（予定）の強化講習会を、山形大学や県立産業技術短期大学校等で教授等を講師に迎え開催する。

日程や研修会場等の詳細については代表校と相談し、代表強化講習会要項を別途定めるものとする。

なお、強化講習会への生徒の参加については、保護者に参加の承諾を必ず得た上で、原則として教員1名以上が引率することとする。この際の生徒の旅費は参加者負担とする。なお、引率教員については、旅費を配当替えする。

参加生徒の傷害保険については、主催者にて加入する。

13 その他

- (1) 山形県大会への生徒の参集については、実技競技出場者（3名）のみとし、保護者に参加の承諾を必ず得た上で、原則として教員1名以上が引率することとする。生徒の旅費は参加者負担とする。なお、競技役員等を委嘱した引率教員については、旅費を別途配当替えする。
- (2) 山形県大会へ参加申込みをしたチームの数によっては、大会前に追加募集をする場合がある。
- (3) 全国大会出場にかかる県代表チーム派遣費用等については、原則としてJSTが負担する。
- (4) 山形県大会実施の可否判断について
災害等により、山形県大会を実施できない場合は、県大会当日の午前8時までに、県教育センターWebページ（<http://www.yamagata-c.ed.jp/>）のトップページに実施不可の連絡を掲載する。参加者は、必ず閲覧すること。
通常通り山形県大会を実施する場合は、県教育センターWebページに、連絡等の記載はしない。